

1. 整備計画																																									
計画の名称 命と暮らしを守る“ふじのくに”のみちづくり(防災・安全)																																									
計画の期間		平成29年度 ~ 令和3年度			交付対象		静岡県, 下田市, 東伊豆町, 河津町, 南伊豆町, 松崎町, 西伊豆町, 熱海市, 伊東市, 沼津市, 御殿場市, 裾野市, 伊豆の国市, 清水町, 長泉町, 富士宮市, 富士市, 焼津市, 牧之原市, 吉田町, 袋井市, 磐田市, 掛川市, 菊川市, 森町, 湖西市, 伊豆市, 三島市, 小山町, 藤枝市, 御前崎市																																		
計画の目標																																									
・本県の道路整備計画である「ふじのくにのみちづくり」に基づき、道路法面の防災対策や橋梁の耐震化を行い、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの整備を進めるとともに、交通安全対策等を行い、安全で安心した豊かな生活を送れる社会の実現を目指す																																									
計画の成果目標(定量的指標)																																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模発生時等の道路ネットワークの確保(緊急輸送路等の法面対策) (H29: 72% → R3: 83%)</li> <li>大規模発生時等の道路ネットワークの確保(緊急輸送路等の橋梁の耐震化) (H29: 63% → R3: 94%)</li> <li>新たな道路整備や修繕により安全・安心な道路空間を創出(歩行者・自転車) (H29: 0人/日・km → R3: 350人/日・km)</li> <li>新たな道路整備や修繕により安全・安心な道路空間を創出(自動車) (H29: 0台/日・km → R3: 50000台/日・km)</li> </ul>																																									
定量的指標の定義及び算定式																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H29当初)</th> <th>(H 末)</th> <th>(R3末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 大規模発生時等の道路ネットワークの確保(緊急輸送路等の法面対策や橋梁の耐震化) 対策完了箇所数/H8防災総点検要対策箇所数(事前通行規制区間かつ緊急輸送上にある箇所)</td> <td>72%</td> <td>—</td> <td>83%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 大規模発生時等の道路ネットワークの確保(緊急輸送路等の法面対策や橋梁の耐震化) 「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」に基づく重要路線等にある橋梁の耐震化率の向上</td> <td>63%</td> <td>—</td> <td>94%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 新たな道路整備や修繕により安全・安心な道路空間を創出 安全な道路空間の創出により安全・安心に享受できる歩行者・自転車数 Σ{ [(区間内の歩行者数)人/日 + (区間内の自転車通行台数)台(人)/日] × (新たに安全な空間が創出された道路延長)km}</td> <td>0人/日・km</td> <td>—</td> <td>350人/日・km</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 新たな道路整備や修繕により安全・安心な道路空間を創出 自動車走行環境の改善により安全な走行環境を利用する自動車台数 Σ{ (区間内の自動車交通量)台/日 × (新たに安全な走行空間が確保された延長)km}</td> <td>0台/日・km</td> <td>—</td> <td>50000台/日・km</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H29当初)	(H 末)	(R3末)	① 大規模発生時等の道路ネットワークの確保(緊急輸送路等の法面対策や橋梁の耐震化) 対策完了箇所数/H8防災総点検要対策箇所数(事前通行規制区間かつ緊急輸送上にある箇所)	72%	—	83%		② 大規模発生時等の道路ネットワークの確保(緊急輸送路等の法面対策や橋梁の耐震化) 「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」に基づく重要路線等にある橋梁の耐震化率の向上	63%	—	94%		③ 新たな道路整備や修繕により安全・安心な道路空間を創出 安全な道路空間の創出により安全・安心に享受できる歩行者・自転車数 Σ{ [(区間内の歩行者数)人/日 + (区間内の自転車通行台数)台(人)/日] × (新たに安全な空間が創出された道路延長)km}	0人/日・km	—	350人/日・km		④ 新たな道路整備や修繕により安全・安心な道路空間を創出 自動車走行環境の改善により安全な走行環境を利用する自動車台数 Σ{ (区間内の自動車交通量)台/日 × (新たに安全な走行空間が確保された延長)km}	0台/日・km	—	50000台/日・km	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																					
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																																						
	(H29当初)	(H 末)	(R3末)																																						
① 大規模発生時等の道路ネットワークの確保(緊急輸送路等の法面対策や橋梁の耐震化) 対策完了箇所数/H8防災総点検要対策箇所数(事前通行規制区間かつ緊急輸送上にある箇所)	72%	—	83%																																						
② 大規模発生時等の道路ネットワークの確保(緊急輸送路等の法面対策や橋梁の耐震化) 「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」に基づく重要路線等にある橋梁の耐震化率の向上	63%	—	94%																																						
③ 新たな道路整備や修繕により安全・安心な道路空間を創出 安全な道路空間の創出により安全・安心に享受できる歩行者・自転車数 Σ{ [(区間内の歩行者数)人/日 + (区間内の自転車通行台数)台(人)/日] × (新たに安全な空間が創出された道路延長)km}	0人/日・km	—	350人/日・km																																						
④ 新たな道路整備や修繕により安全・安心な道路空間を創出 自動車走行環境の改善により安全な走行環境を利用する自動車台数 Σ{ (区間内の自動車交通量)台/日 × (新たに安全な走行空間が確保された延長)km}	0台/日・km	—	50000台/日・km																																						
全体事業費		合計(A+B+C)		44,805百万円	A	44,805百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%																													
事業種別		主要となる事業名(事業箇所)		事業内容(延長・面積等)		市町名		全体事業費(百万円)		備考																															
道路		(国)135号(大川)		法面対策		東伊豆町		460																																	
事業数		(一)三沢富士宮線 八幡橋		落橋防止装置の設置		富士宮市		80																																	
238		(一)沼津小山線(湯沢)		歩道整備 L=0.67km		御殿場市		55																																	
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)																																									
計画の移行なし		○	59	△	137	-	36	備考	未実施	計画の移行あり	●	2	▲	4																											
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																																									
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況																																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>(国)135号(賀茂郡東伊豆町奈良本)や(国)136号(賀茂郡松崎町雲見)などで法面対策を実施し、緊急輸送上の事前通行規制区間にあるH8防災総点検要対策箇所の対策率が向上した。</li> <li>(一)三沢富士宮線(八幡橋)など、修繕と合わせて耐震補強を実施する橋梁を対象に事業を実施し、緊急輸送上の重要路線にある橋梁の耐震化率が向上した。</li> <li>(一)沼津小山線(湯沢)などで交通安全事業を実施し、安全・安心な道路空間が創出された。</li> </ul>																																									
II 定量的指標の達成状況																																									
指標①		最終目標値		83%		目標値と実績値に差が出た要因 法面対策を実施するにあたり、現地を詳細に調査したところ、対策が必要な転石・浮石や崩壊等が新たに確認され、設計及び工事に時間を要し、全体の進捗に遅れが生じた。																																			
		最終実績値		78%																																					
		指標②		最終目標値		94%		年次計画以上の予算が確保されており、対策は進捗しているが、架け替えを実施する橋梁や河川内の多径間橋梁の工事に不測の時間を要したことから、工期に遅れが生じているため。																																	
				最終実績値		85%																																			
		指標③		最終目標値		350人/日・km		計画的な事業執行により、用地交渉や関係機関調整が当初想定よりも順調に進んだことから、目標値以上の実績を達成できた。																																	
				最終実績値		410人/日・km																																			
		指標④		最終目標値		50,000台/日・km		計画的な事業執行により、関係機関調整が当初想定よりも順調に進んだことから、目標値以上の実績を達成できた。																																	
				最終実績値		70,863台/日・km																																			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況																																									
緊急輸送路等の法面対策や橋梁の耐震対策の進捗により、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークが構築され、災害時等の救急・救命活動や支援物資の輸送、復旧・復興活動を確実に行うことが可能となった。																																									
4. 今後の方針等																																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急輸送路等の法面対策や橋梁の耐震対策は「静岡県地震・津波アクションプログラム」に位置付けられた施策であるため、今後も必要な対策を着実に進め、県民の安心・安全の確保に努めていく。</li> <li>歩行者の多い身近な道路の交通安全対策や、幹線道路における事故発生割合の高い区間での交通安全対策など、効果的な交通安全対策を進めていく。</li> </ul>																																									

**（1）事業の目的**

本県の道路整備計画である「“ふじのくに”のみちづくり」に基づき、道路法面の防災対策や橋梁の耐震化を行い、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの整備を進めるとともに、交通安全対策等を行い、安全で安心した豊かな生活を送れる社会の実現を目指す。

**（2）指標①：大規模発生時等の道路ネットワークの確保（緊急輸送路等の法面对策）**

（H29：72% → R3：83%）

**指標②：大規模発生時等の道路ネットワークの確保（緊急輸送路等の橋梁の耐震化）**

（H29：63% → R3：94%）

**指標③：新たな道路整備や修繕により安全・安心な道路空間を創出（歩行者・自転車）**

（H29：0人/日・km → R3：350人/日・km）

**指標④：新たな道路整備や修繕により安全・安心な道路空間を創出（自動車）**

（H29：0台/日・km → R3：50,000台/日・km）

**指標の達成状況**

- ①：最終実績値は78%であり、目標を達成できなかったが、災害に強い道路が着実に増加している
- ②：最終実績値は85%であり、目標を達成できなかった、災害に強い道路が着実に増加している
- ③：最終実績値は410人/日・kmであり、目標を達成した
- ④：最終実績値は70,863台/日・kmであり、目標を達成した

計画の成果目標	定量的指標		
	H29当初	R3末最終目標	最終実績
① 大規模発生時等の道路ネットワークの確保（緊急輸送路等の法面对策）	72% (134箇所/187箇所)	83% (156箇所/187箇所)	78% (145箇所/187箇所)
② 大規模発生時等の道路ネットワークの確保（緊急輸送路等の橋梁の耐震化）	63% (363橋/516橋)	94% (542橋/576橋)	85% (493橋/576橋)
③ 新たな道路整備や修繕により安全・安心な道路空間を創出（歩行者・自転車）	0人/日・km (0箇所/8箇所)	350人/日・km (8箇所/8箇所)	410人/日・km (9箇所/8箇所)
④ 新たな道路整備や修繕により安全・安心な道路空間を創出（自動車）	0人/日・km (0箇所/14箇所)	50,000人/日・km (14箇所/14箇所)	70,863人/日・km (16箇所/14箇所)

**（3）指標に関連する実施事例**

① 〈県〉法面对策 A01-008（国）135号 東伊豆町大川



② 〈県〉 橋梁耐震 A01-194（一）三沢富士宮線 八幡橋（落橋防止工）



③ 〈県〉 交通安全 A01-027（一）沼津小山線（御殿場市湯沢）歩道整備



**（4） 定量指標以外の効果発現状況**

緊急輸送路等の法面对策や橋梁の耐震対策の進捗により、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークが構築され、災害時等の救急・救命活動や支援物資の輸送、復旧・復興活動を確実に行うことが可能となった。

**（5） 今後の方針と目標達成見込み**

- ・ 緊急輸送路等の法面对策や橋梁の耐震対策は「静岡県地震・津波アクションプログラム」に位置付けられた施策であるため、今後も必要な対策を着実に進め、県民の安心・安全の確保に努めていく。
- ・ 歩行者の多い身近な道路の交通安全対策や、幹線道路における事故発生割合の高い区間での交通安全対策など、効果的な交通安全対策を進めていく。

# 社会資本総合整備計画（防災・安全交付金） 参考図面



